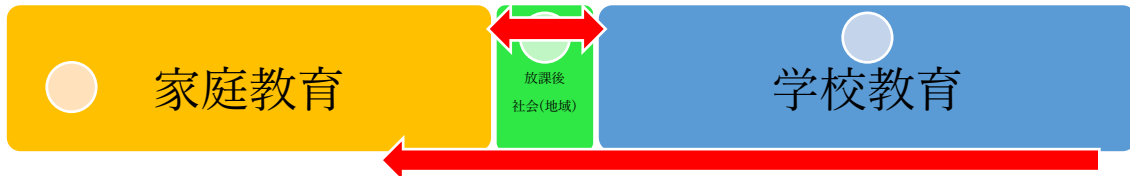


# 2022(R4)年度 放課後学習支援の基本的な考え方

～家庭教育を補完し、学校教育の土台をつくる放課後支援へ～

現在の学習支援は学校教育を補完する家庭をさらに補完する役割としてのアドバイザー



○学校教育を補完するため、かけ算九九の習得を柱として2年生あたりから宿題、ドリル学習を中心に実施

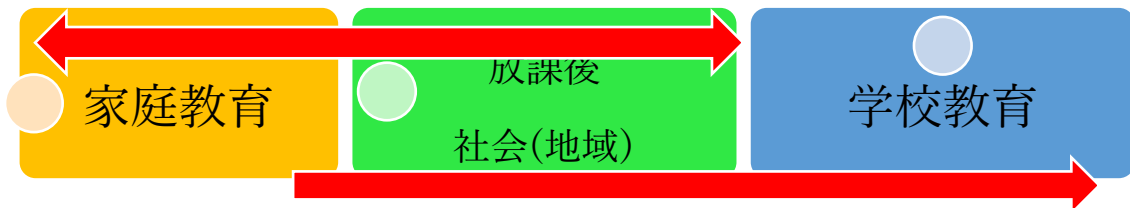
- 申込を取ると保護者の意向が強くなり「来たくないのに来ている」子どもが見られた
- 来たくない理由は、学校で勉強した後に、また、勉強するのはイヤ!!

○教材を検討し多様な工夫

- ・宿題、音読、プリント、はまっこドリル、CDでの一斉掛け算九九の暗唱、簡単数字パズルや迷路パズル、シール、タブレット、本の読み聞かせ、プリントは、医者が考案したコグトレパズルも活用しています。
- ・書写や漢字、早口言葉、竹笛づくりやシャボン玉、スライム、昔あそびにフライングディスクで、ディスクゴルフなどを図工(粘土工作)・かるたゲーム・都道府県カルタ、瀬谷歴史カルタ、ことわざカルタ、反対言葉カード、シャボン玉作り・身体運動(バランス崩し・身体ゲーム)等、クロスワードやナンプレのプリント、韓国朝鮮のユンノリという双六をやったり、フライングカップを作って飛ばしたり、子どもの関心に合わせてやっています
- ・集中力と向上心を高め日本文化に触れるために百人一首
- ・今日の豆知識としてクイズ形式の問題
- ・プログラミング
- ・「チャレンジのあしあと」への記録

## ★家庭教育を補完し、学校教育の土台をつくる放課後支援

今後の学習支援・・・家庭・放課後の学習経験を学習支援と捉え学校教育につなげるアドバイザー



学習意欲と学習習慣を目的として、必要と思われる学習経験を積み重ねていく

主に自学(宿題をやりたい!を含む)を基本として、自学の目的が見つかるように学習経験を増やす

※プログラム提供は、すばいすとして開発していく

<瀬谷小自学の例>英語のスペルや基礎的な英語に取り組んでいたり、算数のお買い物するドリルを購入して、上のお金を使ってお金の使い方を学んだり、保護者と相談した国語のプリントに取り組んできました

# 一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室の取組（ある自治体の例を参考に作成）

## 一体型とは

- 共働き家庭等も含めた全ての就学児童を対象に、共通の活動場所において多様な共通プログラムを実施
- 活動場所は学校の余裕教室や特別教室（家庭科室や理科室、ランチルーム等）、学校敷地内の専用施設等の安心・安全な活動場所を活用

## 一体型のイメージ

【学校の敷地内等にて実施】

※放課後子供教室については、各地域の実情等に応じて開催

